

ハグしちゃおう！ 2022

令和4年度 園長だより10号

「第59回室蘭幼稚園 発表会」が終わってしまいました！企画は春から！準備は運動会が終わってからすぐに取り掛かり、子ども達も運動会からわずか2カ月しか経っていない中で、発表会でした！本当は子ども達の表情を全部出させてあげたかったな～と思いますが、コロナ禍の生活が当たり前になっている子ども達の頑張りは本当に立派で、こちらが元気をもらえるような日々でした。

とはいえ、練習が始まった時は年長さんが歌の音程がなかなか取れず、どうしてだろう？と考えていました。繰り返しているうちにどんどん上手になり本番は最高に素敵でした！

この3年間大声でおしゃべりしない・歌を控えるといった対応が必要な中で、やっぱりできなくなっていたこと・一杯あったな・と実感する日々でもありました。セリフを言う時だけ大きな声で！というのも無理がありますよね！そんな中で、あんなに年長らしい姿を発表してくれて感動しました。年中さんは両クラス先生のお手本無しで生き生きと発表してくれました！年少さんは男女問わず踊りが好きで、場所の移動も完璧でした！たまご組さんは毎日違うので(笑)ハラハラしましたが、特別な1日を感じてくれていたらいいなと思いました！

今回の発表会で1番いいな～と感じたのは「助け合う姿」でした！特に年長さんにとってはコロナ生活3年間の中で、人との距離を取ることを余儀なくされ、食事中も静かに・他人との密着を遮断され、愛着形成といながらスキップが出来ない・そんな毎日の中で他者を気にする事に鈍感になっている現状がありました。しかし！発表会を通して、本番だけではなく、仲間との関わりの中で、自然と助け合う姿が見えた事は、本当に嬉しい成長の証でした！そして、子ども達は不慣れな環境の中でも、ちゃんと愛着形成は出来るし、仲間意識も育っている！と確信しました。コロナは本当に憎らしい環境の変化ではありますが、だからこそ生まれた優しさや思いやりもあったように感じています。そして・そうであって欲しいと願っています。発表会で何が育つか！幼稚園行事の底力を実感した発表会でした！

そして！個人的には貴子先生の思わぬ自宅待機で、こあら組さんの歌と楽器演奏の指揮をやらせて頂いた私ですが、実はとっても楽しかったです。私は若い頃から年長の担任が多かったのと、私が言語劇をやりたいと初代園長に直訴したため、劇のピアノは頑張りました！(笑)。しかしながら、歌と楽器演奏に関しては私以上にピアノが得意な先輩・後輩に恵まれ、2年目の1度だけしか発表会のピアノ担当にはなったことがありません。そんなたった1回のピアノ担当・めっちゃめっちゃ緊張しました！当時は窓側に園長・来賓がずらりと座っていて、より一層の緊張感がある中、ちょっと間違えた私・ニヤッと笑ってしまった顔がピアノに反射して園長に見えていて「笑うな！」と小さな声で囁かれた時に凍り付くかと思いました(笑)。

こあら組さんの指揮は懐かしさと大好きなポジションに立てた嬉しさで、あとで頂いた動画の自分が予想以上にハネて動いて反省しました(笑)！貴子先生には申し訳ないのですが、いい経験をさせてもらっちゃいました。私は指揮に小技を挟むのですが・意外な子がこの小技に気づくんです！そして真似しちゃうの！！

この真似するという行為は行動観察の延長にあります。そして、人は真似る事から成長していくのです。生まれてから赤ちゃんが何故立ち上がるか？周りの人間が立っているからです！ご飯を箸で食べるようになるのも、日本での食事習慣の中での真似事です。手で食べる文化の国では手で食べますし、ナイフとフォークの国もあります。だからと言って生まれて直ぐに箸を持って食べる事が出来たわけもなく、手づかみだったりスプーンだったり、段階を経て成長していきます。言語も真似からです！大人が優しい言葉を使っていると子どもも優しい言葉を使います。もちろん逆もあります！そして言語もまた積み重ねです。

母子手帳を振り返ってみてください。初めての発語は何でしたか？初めの一歩はいつでしたか？子ども達の発表会は第59回ではなく、一人一人の今年初めての発表会だったのです。全ては初めて！全ては真似てみて！全ては積み重ねです！そして、大人になると真似しなくなっちゃうんです。子ども達を見ていて私も子ども達を真似したくなっちゃいました！ステキだったもんな～面白そうだったもんな～

こあら組の発表会が終わってこんなメッセージを頂きました。「まるで、アクシデントを楽しんでいるように見えました。私が職員なら救われる思いでした。」これは・かなり！嬉しかったです(笑)。「アクシデントを楽しむ大人であれ！」入園案内に毎年書かせて頂いている言葉です！アクシデントはいつ起こるか、何が起こるか想定不能です。今回の担任不在は本当はあってはならない重要案件です。こあら組さんには大変、ご心配とご迷惑をおかけしました。しかし、当日の空気感、子ども達の頑張りと、貴子先生の想いがあったからこそそのアクシデントの楽しみ方でした！アクシデントが起こった時に、助けてあげたいな・助けて欲しいな・という双方の想いがあればこそです。そういう私も沢山のアクシデントに日々助けられています。助けてもらったら！倍返し！じゃないですけど、人の気持ちとはそういうものですね。

今年の年長さんが発表会で見せてくれた姿は「助け合う」でしたね！その「助け合う」にも、良かれと思っても相手にはマイナスな事もあるし、やってみないとわからない事があります。でも私はまずはアクションを起こすべきだと思っています。間違っていたら「ごめんね！」と言いたいです。そして、あとから「自分もそう思っていた！」という人が苦手です(笑)。

先日、作詞家の秋元康さんがインタビューでマイナス意見が面白いと言っていました、本当にそう思います。とかく上司に寄り添いがちな意見が多いのはやっぱり失敗経験の不足や自分がどう思われるのだろうという他者評価の圧に負けているからだと思います。会議をしていて、自分とは方向性の違う意見が出てくる事は実は面白い現象です。マイナス意見だと思っている事がマイナス！マイナス×マイナス＝プラスですからね！足すより掛け算！そんな気持ちで本園のスタッフにも激を飛ばしたいところです(笑)。

さて、今年も残すところあと1か月です。楽しい2学期の終わりになりますように！出来ないを嘆くより、出来た！を喜び合いたいですね！掛け算で！！お節介な感じでも・誰かを助けてみませんか？掛け算で！！

ハグしちゃおう！

室蘭幼稚園 園長 小倉真弓美